

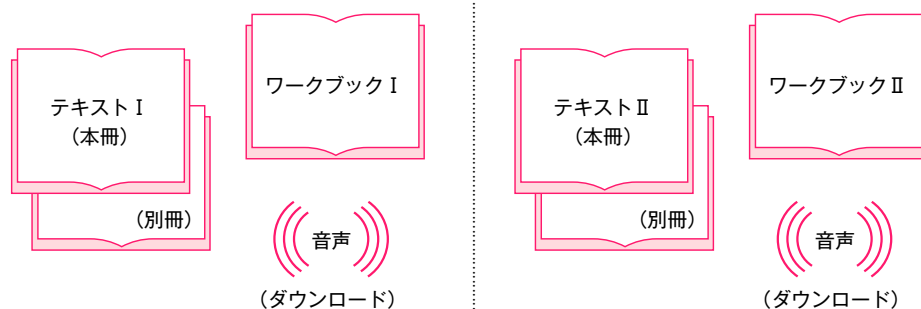
本書について

1 『中級日本語 カルテット』とは

『中級日本語 カルテット』は初級（250～300時間）が終わった学生のための中級総合教材です。中級レベルに必要な文法・表現・ストラテジーを学び、4つのスキル（読む・書く・話す・聞く）をバランスよく身につけることを目標にしています。

教材はI（第1課～第6課）とII（第7課～第12課）に分かれていて、それぞれにテキストとワークブックがあります。IとIIでCEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）のB1レベル到達を目指します。

学習内容は、Iは日本語能力試験のN3レベル、IIはN2レベルを中心に、各課、文型・表現を約10項目ずつ、漢字は約45字ずつ、読みのストラテジーを1～2項目を学びます。第I巻全体では、文型・表現55項目、漢字327字、読みのストラテジー10項目になります。



2 テキストIの構成と内容

『中級日本語 カルテット』のテキストには、1つの課に「読む」「書く」「話す」「聞く」のセクションがあり、共通するテーマでつながっています。「読む」の読み物のトピックが「書く」の作文や「話す」の会話、「聞く」の聴解でも取り上げられていたり、聴解には読み物の文型・表現が使われていたり、各セクションが様々な形で関連していることで、4つのスキルを自然にバランスよく伸ばすことができます。読み物の単語リスト・漢字リストは、本文を見ながら使えるように、テキストに付属する「別冊」に収録しています。また、課の後ろに「ブラッシュアップ」として、各課の学習をサポートする初級文法と漢字に関するセクションがあります。

以下、テキストIの構成と内容について説明します。